

様式 A 特別活動 (山田 貴史)

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	特別活動 (Special Curricular Activity)		単位
	一般・専門の別・ 学習の分野			授業形態・学期 通年
	対象学生	3-M		必修・必履修・ 履修選択・選択の別
	担当教員・所属系	山田 貴史・総合理工学科 機械システム系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野			
	学習教育目標との 関連			
	技術者教育 プログラムとの関連			
	授業の概要	<p>特別活動は学級・学年によるホームルーム活動や学年行事、学校行事、学生会活動に分類される。毎朝のショートホームルームは、規則正しい生活リズムの確立を目指すものであり、学校生活に不可欠な情報の伝達も同時に行う。週1時間のホームルーム活動においては、合宿研修への取り組み、より深い専門教科を学ぶ姿勢、学校での様々な活動におけるリーダーとしての役割について、クラスでの話し合いを深める。進路の選択などについてもより具体的に考えられるよう話し合いと学習を行う。また人権・同和問題を含め、今後3年間過ごす同級生との仲間意識を育て、高専生として、よりモラルや向上心を高める。</p> <p>特に3年では、学級単位の合宿研修や交通安全講習会や成人年齢引き下げに関する講演会などの学年行事に取り組むことで、学校・学級生活だけでなく社会生活における円滑化を図る。</p>		
	学習目的	<p>特別活動を通じて学級や学校生活、日常的学習の基盤形成をめざす。人間性の涵養、自主・自律と社会性の育成に益する経験をつみ、民主的・主体的に行動する態度を養うことを目的とする。</p>		
	到達目標	<p>◎1. グループでの共同作業において、主体性やチームワーク、コミュニケーション、リーダーシップなどを考えながら行動できる。</p> <p>◎2. 日常生活での自己管理に気を付けることができる。</p> <p>◎3. 法令や人権問題に関して主体的に学習し考えられる。</p> <p>◎4. 自らのキャリアについて具体的に考え行動できる。</p>		
	履修上の注意	<p>特別活動は、第1学年から第3学年までの各学年30単位時間計90単位時間以上実施する。</p>		
履修のアドバイス	<p>各学年の課程修了を認定するに当たっては、学業成績のほか特別活動の状況を併せ評価するので、主体的な活動への参加を要する。</p>			
基礎科目	特別活動(1・2年)と「公共」、「歴史」などの全ての教科活動			
関連科目	全ての教科活動			

授業にかかわる情報							
授業の方法	ホームルーム活動においては学生の自主性を重んじ、お互いの人間性を尊重し合い、相互理解を深め、信頼関係形成をめざして豊かな人間関係を育てる。委員会・学生会活動などに関しては、リーダー的な立場が取れるような活動をすすめる。さらに、合宿研修が豊かで実りあるものとなるよう努力する。また、毎朝ショートホームルームを実施し、連絡事項を確認する。						
授業計画	<table border="1"> <thead> <tr> <th>開講週</th> <th>内容〔項目〕(指示事項)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前期 1 週から 15 週</td> <td> (4月 到達目標：1, 2, 4) ・ オリエンテーション① ・ 始業H・R①〔ガイダンス, クラス委員選出, 日直・掃除当番の職務について, 座席の決定など〕 ・ 選択科目の履修に関する指導 ・ 津山高専情報倫理ガイドラインの説明 ・ 個人面談・単位認定試験の説明, 学生生活ガイドブック説明(単位・進級) (5月 到達目標：1, 2, 4) ・ シラバスに関する指導と目標記録簿による目標の設定〔技術者教育プログラムの説明を含む〕 ・ 春季スポーツ大会出場クラス選手の選出 ・ 春季スポーツ大会② ・ 個人面談 ・ 合宿研修への取り組み(1) ・ 学生総会① (6月 到達目標：1, 2, 4) ・ 合宿研修への取り組み(2) ・ 前期中間試験への取り組み ・ 試験の反省と苦手教科克服への取り組み (7月 到達目標：1, 2, 4) ・ 合宿研修への取り組み(3) ・ 自由課題での討論 ・ 前期末試験への取り組み (8月 到達目標：1, 2, 3, 4) 前期末試験の反省 ・ 夏休みの過ごし方 </td> </tr> <tr> <td>後期 16 週から 30 週</td> <td> (9月) ・ 全校集会① ・ 夏休みの報告と反省 (10月) ・ 目標記録簿による中間達成度評価 ・ 合宿研修への取り組み(4) ・ 合宿研修④ ・ 合宿研修のまとめ, 報告書の作成 ・ 交通安全教育 ・ 秋季スポーツ大会出場クラス選手の選出 ・ 秋季スポーツ大会② (11月) ・ キャリア教育(1), (2) ・ 進路ガイダンス, 進路の決まった先輩の報告を聞く ・ 後期中間試験への取り組み (12月) ・ 後期中間試験の反省 (1月) ・ 人権教育 ・ キャリア教育(3) ・ 学生会長選挙立会演説会① (2月) ・ 目標記録簿による達成度評価 ・ 後期末試験への取り組み ・ 清掃 ・ 全校集会① (H・Rの掃除, 日直活動などの学級での活動もホームルーム活動に含む) </td> </tr> </tbody> </table>	開講週	内容〔項目〕(指示事項)	前期 1 週から 15 週	(4月 到達目標：1, 2, 4) ・ オリエンテーション① ・ 始業H・R①〔ガイダンス, クラス委員選出, 日直・掃除当番の職務について, 座席の決定など〕 ・ 選択科目の履修に関する指導 ・ 津山高専情報倫理ガイドラインの説明 ・ 個人面談・単位認定試験の説明, 学生生活ガイドブック説明(単位・進級) (5月 到達目標：1, 2, 4) ・ シラバスに関する指導と目標記録簿による目標の設定〔技術者教育プログラムの説明を含む〕 ・ 春季スポーツ大会出場クラス選手の選出 ・ 春季スポーツ大会② ・ 個人面談 ・ 合宿研修への取り組み(1) ・ 学生総会① (6月 到達目標：1, 2, 4) ・ 合宿研修への取り組み(2) ・ 前期中間試験への取り組み ・ 試験の反省と苦手教科克服への取り組み (7月 到達目標：1, 2, 4) ・ 合宿研修への取り組み(3) ・ 自由課題での討論 ・ 前期末試験への取り組み (8月 到達目標：1, 2, 3, 4) 前期末試験の反省 ・ 夏休みの過ごし方	後期 16 週から 30 週	(9月) ・ 全校集会① ・ 夏休みの報告と反省 (10月) ・ 目標記録簿による中間達成度評価 ・ 合宿研修への取り組み(4) ・ 合宿研修④ ・ 合宿研修のまとめ, 報告書の作成 ・ 交通安全教育 ・ 秋季スポーツ大会出場クラス選手の選出 ・ 秋季スポーツ大会② (11月) ・ キャリア教育(1), (2) ・ 進路ガイダンス, 進路の決まった先輩の報告を聞く ・ 後期中間試験への取り組み (12月) ・ 後期中間試験の反省 (1月) ・ 人権教育 ・ キャリア教育(3) ・ 学生会長選挙立会演説会① (2月) ・ 目標記録簿による達成度評価 ・ 後期末試験への取り組み ・ 清掃 ・ 全校集会① (H・Rの掃除, 日直活動などの学級での活動もホームルーム活動に含む)
	開講週	内容〔項目〕(指示事項)					
	前期 1 週から 15 週	(4月 到達目標：1, 2, 4) ・ オリエンテーション① ・ 始業H・R①〔ガイダンス, クラス委員選出, 日直・掃除当番の職務について, 座席の決定など〕 ・ 選択科目の履修に関する指導 ・ 津山高専情報倫理ガイドラインの説明 ・ 個人面談・単位認定試験の説明, 学生生活ガイドブック説明(単位・進級) (5月 到達目標：1, 2, 4) ・ シラバスに関する指導と目標記録簿による目標の設定〔技術者教育プログラムの説明を含む〕 ・ 春季スポーツ大会出場クラス選手の選出 ・ 春季スポーツ大会② ・ 個人面談 ・ 合宿研修への取り組み(1) ・ 学生総会① (6月 到達目標：1, 2, 4) ・ 合宿研修への取り組み(2) ・ 前期中間試験への取り組み ・ 試験の反省と苦手教科克服への取り組み (7月 到達目標：1, 2, 4) ・ 合宿研修への取り組み(3) ・ 自由課題での討論 ・ 前期末試験への取り組み (8月 到達目標：1, 2, 3, 4) 前期末試験の反省 ・ 夏休みの過ごし方					
後期 16 週から 30 週	(9月) ・ 全校集会① ・ 夏休みの報告と反省 (10月) ・ 目標記録簿による中間達成度評価 ・ 合宿研修への取り組み(4) ・ 合宿研修④ ・ 合宿研修のまとめ, 報告書の作成 ・ 交通安全教育 ・ 秋季スポーツ大会出場クラス選手の選出 ・ 秋季スポーツ大会② (11月) ・ キャリア教育(1), (2) ・ 進路ガイダンス, 進路の決まった先輩の報告を聞く ・ 後期中間試験への取り組み (12月) ・ 後期中間試験の反省 (1月) ・ 人権教育 ・ キャリア教育(3) ・ 学生会長選挙立会演説会① (2月) ・ 目標記録簿による達成度評価 ・ 後期末試験への取り組み ・ 清掃 ・ 全校集会① (H・Rの掃除, 日直活動などの学級での活動もホームルーム活動に含む)						
教科書, 教材等	適宜, 資料を配付する。また映像資料などもできるだけ活用する。						

成績評価方法	「特別活動の結果」が良好であるとの認定は、実施時間数の5分の4以上出席した者について行う。ショートホームルームを10回休むと1時間の欠課となるので注意すること。評価は、ホームルーム活動、学校行事、学生会活動の結果を総合しておこない、「合」、「否」で判定する。
受講上のアドバイス	あたえられた情報をうけとり、課題をこなすだけでなく、積極的に参加すること。特に集団として取り組みを重視してほしい。授業計画は項目の前後、内容の変更がありうる。遅刻とみなす時間は原則として授業時間の1/2までとし、以降は欠課とみなす。

ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目 1	学生参加行事に積極的に参加し、その際に責任ある行動が十分に取れる。		学生参加行事に積極的に参加し、その際に責任ある行動が取れる。		学生参加行事に参加している。		学生参加行事に参加していない。
評価項目 2	グループでの共同作業において、リーダーとなって全体に目を配り、主体性やチームワーク、コミュニケーションを図るための行動・提案が十分にできる。		グループでの共同作業において、主体性やチームワーク、コミュニケーションを図るための行動・提案が十分にできる。		グループでの共同作業において、主体性やチームワーク、コミュニケーションを図るための行動・提案ができる。		グループでの共同作業において、主体性やチームワーク、コミュニケーションを図るための行動・提案ができない。
評価項目 3	日常生活において、自らの行動を律するだけでなく、法令や人権に配慮し周囲への働きかけも十分にできる。		日常生活において、自らの行動を律するだけでなく、法令や人権に配慮し周囲への働きかけもできる。		日常生活において、自己管理ができるとともに、法令や人権に配慮した行動をとることができる。		日常生活において、自己管理ができるとともに、法令や人権に配慮した行動をとることができない。
評価項目 4	自らのキャリアに対して明確な目標を持ち、それに向かって行動を積極的に起こすことができる。		自らのキャリアに対して目標を持ち、それに向かって行動を起こすことができる。		自らのキャリアについて具体的に考え行動できる。		自らのキャリアについて具体的に考え行動できない。
評価割合							
	試験	発表	相互評価	自己評価	課題	小テスト	合計
総合評価割合	ホームルーム活動、学校行事、学生会活動の結果を総合して行い、「合」、「否」で判定する。						100
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0